

平成23年度事務事業評価シート(平成22年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	05	項	01	目	04
事務事業名	雇用促進住宅仙北宿舍専用給水施設管理事業								
担当部署	仙北支所市民サービス課	4701000	電話	0187-63-3003			内線	222	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	99:該当なし
	施策の大綱	99:該当なし
	施策	99:該当なし
	施策の内容	99:該当なし
根拠法令等	大仙市雇用促進住宅仙北宿舍専用水道設置管理要綱	

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	雇用促進住宅仙北宿舍に清浄な水を供給するため。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	雇用促進住宅仙北宿舍に居住する者。
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	①給水施設の維持管理(電気料の支払い、修繕、消耗品の購入など) ②給水施設の保守・点検 ③水質検査業務 ④水道利用及び使用中止手続き ⑤水道使用量の検針と通知並びに使用料の徴収
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	清浄な水を供給することにより、居住者の生活の安全を守る。

◆実施Do

項目	名称	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 給水施設の保守・点検	回	6	6	6
	② 給水施設の水質検査	回	14	15	16
	③ 水道使用量の検針・通知	回	12	12	12
成果 (事業の成果を測る)	① 給水世帯数(年度4/1現在)	世帯	21	24	19
	②				
	③				
投入コスト	決算額		1,240千円	1,113千円	1,124千円
		一般財源	4千円	0千円	60千円
	人件費		1,427千円	1,409千円	1,426千円
		一般職員の年間従事人数	0.2人	0.2人	0.2人
		一般職員以外の年間従事人数			
	総コスト	(決算額+人件費)	2,667千円	2,522千円	2,550千円

事業を取り巻く環境	この施設は、雇用促進住宅を建設するにあたって上水道の完備が条件であったために、旧仙北町が平成10年に設置した。設置から12年が経過し、施設内の設備はろ過装置ろ材交換やNo.2次亜塩素酸ポンプの修繕が必要となっているため、現在、戸地谷地区簡易水道への接続切替工事を実施。平成23年10月からは専用水道から簡易水道に切り替えるため、周辺の戸地谷地区の給水区域に含まれ一体管理が可能となるので現在の専用給水施設は不要となる。それに伴い今後は施設の解体等を含めた対応が必要となる。
-----------	--

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 施策を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	入居者に清浄な水を供給する施設であり、戸地谷地区簡易水道事業に接続切替工事完成までは必要である。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	A
	評価の理由	平成18年度で債務償還金の支払いが終了し、平成19年度からは、収入(土地貸付料と水道料金)が支出を上回っている。しかしながら、戸地谷地区簡易水道事業に接続切替工事完成後は専用給水施設は使用しないため不要となる。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	B
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	B
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	A
	評価の理由	戸地谷地区簡易水道との接続工事が完成し、専用水道から簡易水道に切り替えた場合は管理が簡易水道に一本化され、周囲との一体的な管理が可能となる。また施設にかかる年間約120万円の支出と職員の人員配置が不要となり、経費削減につながる。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)
A 現状のまま継続 B 改善しながら継続	雇用促進住宅の建設時において、上水道完備が条件であることから、当時仙北町として専用給水施設を設置したものであるが、戸地谷地区簡易水道への接続切替工事を実施後、平成23年10月からは簡易水道からの給水となるため、現在の専用給水施設は不要となるため事業の廃止となる。
C 拡大	
D 縮小	
E 廃止	
F 終了	
廃止	